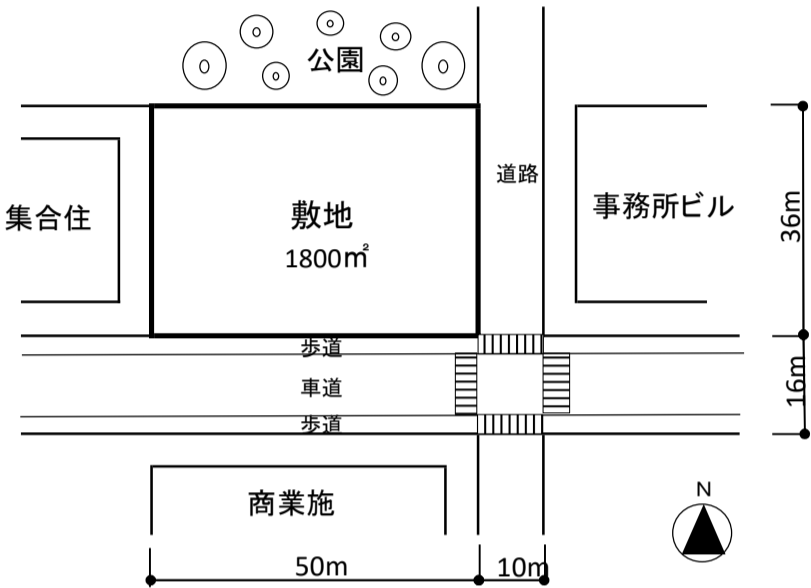


## I. 設計条件

この課題は、ある地方都市の市街地に生涯学習センターを計画するものである。本施設は、生涯学習の機能に加え、図書室、児童図書室等を設けて、幅広い世代が、気軽に読書や情報収集することができる場を提供するものとする。さらに、幅広い世代の地域住民が気軽に利用でき、世代間交流ができる施設とする。

### 1.敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。  
また、歩道の切り開きは、1箇所あたり6mまでできるものとする。
- 敷地は、第一種住居地域及び準防火地域に指定されている。  
また、建ぺい率の限度は60%（特定行政庁が指定した角地における加算を含む。）、容積率の限度は300%である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



### 2.建築物

- 構造・階数等  
構造種別は自由とし、地上3階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計  
床面積の合計は、2,500㎡以上、2,800㎡以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、バルコニー、屋外階段及び搭屋は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室  
下表の室は、すべて計画する

部門	室名	特記事項	床面積
図書館部門	図書室	・貸出カウンター、書架を設ける。 ・閲覧席(30席程度)を設ける。 ・公園の眺望に配慮する。	約300㎡
	児童図書室	・貸出カウンター、書架を設ける。 ・閲覧席(8席程度)を設ける。	約70㎡
	読書室	・読書、学習等に利用する。	約70㎡
	図書作業室	・書籍の整理等を行うものとする。	約50㎡
生涯学習部門	和室	・地域住民の集会、交流会等に利用する。 ・下足箱、収納スペースを設ける。 ・公園の眺望に配慮する。	約100㎡
	教室	・各種講座等に利用する。 ・40人程度が利用できる室を2室設ける。	適宜
	サークル室	・10人程度が利用できる室を3室設ける。	
	休憩コーナー	・20人程度が利用できるようにする。 ・公園の眺望に配慮する。 ・テーブル、椅子を設ける。	
共用・管理部門	エントランスホール	・風除室を設ける。	適宜
	多目的ホール	・設置階は2階とする。 ・講演会、各種発表会等、多目的に利用する。 ・無柱空間とし、天井高5m以上とする。	約200㎡
	会議室	・設置階は2階とする。 ・近隣の企業などが利用する貸会議室とする。	約100㎡
	ギャラリー	・地域住民の文化作品を展示する。	約70㎡
	ショップ	・飲み物、文房具等を販売する。	約50㎡
	コンセプトルーム	・設計条件等を踏まえ、地域住民が世代間交流を図るために必要と思われる室を想定し、室数や室の使い方を自由に提案する。	適宜
	ラウンジ	・40人程度が利用できるようにする。 ・公園の眺望に配慮する。	
	カフェ	・50人程度が利用できるようにする。 ・カウンター、テーブル、椅子を設ける。	
	事務室	・7人分の執務スペースを確保する。 ・受付カウンターを設ける。	
	更衣室	・職員用とし、男女別に各1室設ける。	
休憩室	・職員用とする。		
館長室			
設備スペース	・空調、給排水衛生、電気、消火設備等の「機械室」又は「設備スペース」を屋内又は屋外に計画する。		
・便所及び倉庫については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室、什器等は、適宜計画するものとする。			

### 3.その他の施設等

- オープンスペースを、次の通り計画する。
  - 地上に設けるものとし、まとまったスペースで、250㎡以上(ピロティ、上部に屋根、庇等がある部分は算入しない。)を設ける。
  - このオープンスペースは、本施設のアプローチ空間として利用しても良い。
- 屋上庭園を次の通り計画する。
  - 2階の屋上(3階床レベル)に設けるものとする。
  - 日照を確保し、まとまったスペースで、120㎡以上設ける。
- 駐車場は、地上に平面駐車とし、車椅子利用者用として1台分、施設利用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。なお、職員用の駐車場は、近隣の公共駐車場を利用するものとして考慮しなくてよい。
- 駐輪場は、施設利用者用として30台分設ける。
- (1)～(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

### 4.計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物はバリアフリー、セキュリティ等に配慮する。
  - 図書館部門、生涯学習部門及び共用・管理部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
  - 敷地の周辺環境に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
  - 構造種別、架構形式及びスパン割を適切に計画する。
  - 耐震性に配慮し、必要に応じて、耐力壁等を設ける。
  - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
  - 空調設備は空冷ヒートポンプチャラーユニットによる単一ダクト方式とする。
  - エレベーターを適切に設ける。また、受変電設備は屋外設置とする。

## II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

### 1.要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表より、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。なお、各図面には、必要に応じて、計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

配置	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	①各階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積 ニ. 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ヘ. 断面図の切断位置
(2) 2階平面図 1/200	②1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 駐車場及び駐輪場(台数を明示する。) ハ. 室名等 ニ. 要求室の床面積 ニ. 通路、植栽等
(3) 3階平面図 1/200	③2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離と経路 ロ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 ④3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離と経路 ロ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 ハ. 屋上庭園
(4) 断面図 1/200	① 切断位置は、多目的ホールを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 採用した環境負荷低減手法について、必要に応じ、簡潔な文章や矢印等により明示する。 ③ 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ④ 建築物の最高の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ⑤ 基礎、壁、梁及びスラブの断面を図示する。

### 2.面積表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1階～3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

### 3.計画の要点(答案用紙Ⅱに記入)

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の(1)～(8)の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない計画についても記述する。

- オープンスペースの計画について考慮したこと。
- 屋上庭園の計画について考慮したこと。
- コンセプトルームについて、「使用方法」及び「設け」を提案すること。
- 多目的ホールから発生する振動及び騒音に対して、上下階及び隣接する室への影響を抑制するために、特に考慮したこと
- 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割とこれらを採用した理由
- 建築物に設定した目標耐震性能(地震力の程度と建築物の状態)
- 多目的ホールの空調計画において工夫したこと。(給気口、還気口の位置等)
- 建築物の省エネルギーについて考慮したこと。